

令和4年度 第1回 可美中学校運営協議会 議事録（HP用）

- 1 開催日時 令和4年4月27日（水）13時30分から15時30分まで
- 2 場 所 可美中学校 会議室
- 3 出席委員 小野田和弘 鵜飼愛子 岡本眞理 金原元康 中村裕康 中村淳子
（敬称略） 小野田康弘 和田剛 牧野源太郎
- 4 欠席委員 辻村久美香
- 5 学 校 北村健治（校長）古川里江（教頭）中村里恵（教務）
山田真史 與五沢智宏
- 6 傍聴者 1人（学校職員：谷口峰史）
- 7 協議事項
 - （1）会長の選出及び副会長の指名について
 - （2）議長の選出について
 - （3）可美中学校運営基本方針について
 - （4）今年度の支援策について
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 松田友紀
- 9 会議記録

司会の山田から、委員総数の10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小野田康弘委員や和田委員から小野田和弘委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された小野田和弘委員から、鵜飼委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（2）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、多くの委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（3）可美中学校運営基本方針についての確認・付け加えについて

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・『夢カード』の『夢』という字はありがとうという字からできているんだね。（小野田和弘委員）

・子供はカードが欲しいと思っていて、そのために頑張っている。（牧野委員）

・もらったカードは家の壁に貼ってある。（和田委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 今年度の支援策について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があり、委員から以下の発言があった。

<職場体験> (R2・3中止)

R元→開拓した 次の年につながるといいと思っていたが…。

R2・3 (コロナの関係で) 連絡してもいまいちだった。

R4も状況かわっていない 市の施設はなんとか受け入れてくれると思う。

(岡本委員)

・昨年度もつないでいただいたおかげで、つながっている。新津中学区まで広げている。

(谷口)

・職場体験学習が中止になって、替わりの活動あった？(小野田和弘委員)

・職場見学や職業講話を実施した。(谷口)

・2年の主任は職場体験を今年はずいぶん行いたいという気持ちは持っている。

ジュニアサポート浜松(未来授業と同じような組織)が実技や仕事のやり方、模擬体験を行ってくれる。

⇒9月の最初に判断し、これに替えるかもしれない。(校長)

<受検前面接指導> 面接官が10名確定していない。

・面接官の基準はあるか。(牧野委員)

・経緯を説明(岡本委員)

・元学校の先生や自治会長が多いが、先生じゃない人もよい。校内の先生だと「知っている人」緊張させることが目的。特に限定せず、地域に住んでいる方で。(小野田康弘委員)

・第三者・知らない人がよい。(小野田和弘委員)

・昨年度の3年生、緊張していた。また、校内の先生だと逆にやりづらい。知らないの方が本音を出せることもある。とても良い機会。(與五沢)

・昨年度まで担当してくれた方には手分けして連絡しよう。追加でやってもらえそうな人はいないか。

⇒何名かから意見があがり、3名追加でお願いしてみる事となった。(小野田和弘委員)

<やらまいか講演会>

・CS発足当初から名前があがっている池野さんは、昨年からは割とよく日本に来ているので、次の会合までに聞いてみる。(小野田康弘委員)

・飛行機代までは出せないが、お金は大丈夫？(小野田和弘委員)

・日本に来たついでにやってもらえれば…。(小野田康弘委員)

・自分の子どもの妻がボランティアしている。可美中出身。

NPO 災害救助犬(静岡市)とコンタクトをとることができる。

災害救助犬を使った講演会など可能(5月相良中でも講演会を実施予定)(金原委員)

<地域部活動>

今日のニュース：スポーツ庁 R5. 6. 7で土日の部活 学校→地域
文科省にどうおろされるか

吹奏楽部 地域部活動のモデル校に推薦

日曜日の練習 年 20 回（小学生も希望者を入れていく予定）
学校の先生がつかず、NPOスタッフが実施。（予算ついた）
先日、保護者会を開いて賛同を得た。

懸念材料

地域でやる時に受け皿があるものはよい。

（可美の場合、剣道・サッカーはよいが、他の競技は？）

自分たちがノータッチでいくわけにはいかない。模索し始めたい。

学校運営協議会 2 回目以降に議題の一つにあげさせてもらい、知恵を
もらえれば…。（校長）

・国から補助金。金は限られている。

地域でうまくできればよい。小学校も含めて考えていくべき。

勉強会を開かないと…。（小野田康弘委員）

・ジュニアアスリート浜松が母体となってコミュニティーを作り、そこに保護者がお金を払う。子供たちはやりたいスポーツのところに行くというシステムがある。（校長）

・部活をなんでやらせるのか。目的があいまいになっていく。部活は学校教育の一環
先生によって指導が違うが、人としての成長の場+技術指導

過渡期→うまく橋渡ししないと、部活やスポーツから離れていってしまう。（和田委員）

・中体連はこの先どうなる？（小野田和弘委員）

・全国大会まではあるだろう。小体連は縮小。大会が残っているのは浜松くらい。（校長）

その他報告事項等

・5月11・12日AM 中1対象に防災講座を実施 社協主催 民生委員協力

阪神・東北の震災のDVDを少し見てもらい、体験してもらう。

少しでも災害のことを頭に入れてもらえるとよい。（鵜飼委員）

司会から、次回会議は、令和4年8月17日（水）午後1時30分から可美中学校会議室で開催する旨の報告があった。

